



日本航空株式会社



航空会社と生物多様性



JALグループは、「国連生物多様性の10年」の宣言を受け、生物多様性の保全とその恵みの持続可能な利用について、「JALグループ生物多様性方針」を定め、事業活動を通じた生態系への負荷をできるだけ小さくするよう努めています。

さらに、生物多様性の大切さと、それが失われつつある現実が、まだ広く知られていないことに着目し、まずは多くの方々にこの課題を知って頂くことが大切であると考え、お客さまや広く社会の皆さま、特に次世代を担う子どもたちに生物多様性の大切さを伝える活動を進めています。

JALグループは、「いのちの共生を、未来へ」というCOP10のメッセージと共に、多様ないのちを守り、豊かで美しい地球を未来へつなぐお手伝いをしています。

地球のいのち、つないでいこう



生物多様性



日本航空株式会社の取組

平成29年度第1回タンチョウ越冬分布調査について

道民の鳥に指定されているタンチョウの生息数と分布状況を調べるタンチョウ越冬分布調査が、平成29年12月5日(金)午前には地元小・中学校や関係機関等の協力のもと、道内約280カ所で行われました。

道と包括連携協定を結ぶ日本航空株式会社からは、釧路支店の社員らが初めて調査に参加し、道職員とともに釧路管内のタンチョウの飛来数をカウントしました。

今年度第2回の調査は平成30年1月25日(木)に実施する予定です。





日本航空株式会社の取組

平成29年度第2回タンチョウ越冬分布調査について

道民の鳥に指定されているタンチョウの越冬分布・規模を把握等するタンチョウ越冬分布調査が、平成30年1月25日(木)午後にタンチョウ給餌人等の協力のもと、道内約175カ所で行われました。

道と包括連携協定を結ぶ日本航空株式会社からは、帯広支店の社員らが調査に参加し、道職員とともに釧路管内のタンチョウの飛来数をカウントしました。





日本航空株式会社の取組

タンチョウの冬の食事場所をつくろう！！

人工的な給餌に頼らない、タンチョウの自立した採食行動を目指して、北海道鶴居村にて日本野鳥の会に協力し、タンチョウの冬場の採食地の環境整備活動に取り組んでいます。

この活動では、タンチョウが地上でスムーズに移動できるように、水路を覆う倒木を除去し、また、カマで生い茂った笹を刈り取るなどの作業をしています。



URL:https://www.jal.com/ja/environment/happyeco/tancho-feed_1703/

JALタンチョウフォトコンテスト

生物多様性の大切さや日本の美しい自然を守り続けたいと願う皆さまの思いを、国の特別天然記念物であり日本の美の象徴ともいえるタンチョウの写真と、温かいメッセージにこめてご応募いただき、JALタンチョウフォトコンテストを開催しています。

第3回JALタンチョウフォトコンテストには、全国から719点の作品をご応募頂きました。



第3回 JALタンチョウフォトコンテスト
釧路市長賞
夕映えに飛ぶ
撮影:林 雄大 様

URL:<http://www.jal.com/ja/environment/happyeco/tancho2015.html>